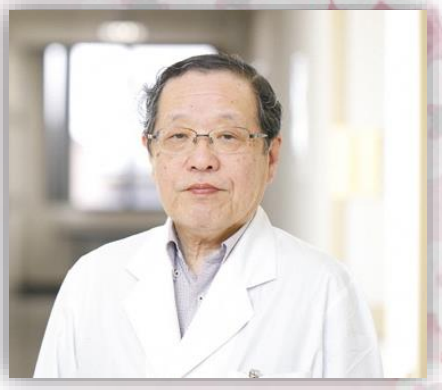
［金沢市立病院　地域連携室通信］ 2019.4 Vol.52
発行：地域連携室

スクラム scrum

❀新しい時代を迎え❀



病院事業管理者（兼）病院長
髙田　重男

平成31年度を迎え、5月1日には年号が令和に変わります。世界で初めての急激な人口減少（少子高齢化）社会に、日本がどう立ち向かうのか一人ひとりの日本人が考えなければならない時代になったと痛感させられます。外国人労働者の雇用の増加、Society5.0やサイエンス5.0に代表されるＡＩなどを駆使した新しい社会形態の創出などその対応が提言されていますが、どれも決定的な解決策にはならないように思われます。

金沢市立病院も新しい時代に、医療の面からどのように対応するか考え、行動する必要があります。特に、病院の再開発を迎え中核都市の自治体病院としてどのような病院にしていくのかを方向付けることが重要です。自治体病院の使命は、政策的医療を行うことです。政策的医療として①感染症、結核医療；II類感染症・結核の病棟としては、金沢中央医療圏では唯一の施設であり、収容施設として維持する必要があります。起こりうる感染症としては、コロナウイルス感染症、新型インフルエンザ感染症であり、発症早期には31名までの患者が収容できる体制としています。また、感染症外来にて、麻しん、風しん等の対応を行いますので、お電話での連絡をお願いいたします。②災害医療；DMAT2チームがあり、JMAT、金沢市医師会、保健所等の行政と連携し災害医療に対応します。③救急医療；断らない救急体制としております。また、午後の整形救急も4月から行うことといたしました。ご利用いただければ幸いです。④先進医療・開発型医療；脳・心血管病センター、呼吸器・睡眠センターを中心に、先端医療を行ってまいります。また、積極的に医療機器、看護用具の開発を行ってまいります。⑥地域医療；医療と介護の連携、在宅医療への支援を行うため、地域連携シートの作成を行っています。基本シート（救急車が利用）、医療連携シート、ＡＤＬ連携シートの組み合わせで、連携が円滑に行くようしております。ご意見等頂き改良していきたいと思います。⑤地域貢献；これまでのホスピタリティー・アートに加え、昨年より“まちなかサロン”をアルコ内で始めました。地域の方々に好評で、毎回満員となっております。登録医の先生方、スタッフの方々にもお話しいただければ幸いです。

地域連携室のスタッフが一部代わりましたが、積極的に先生方をご訪問し連携を強化していくつもりでおります。皆様方のご指導ご鞭撻よろしくお願いいたしたいと存じます。

All Rights Reserved Copyright 2019 Kanazawa Municipal Hospital

❀新任医師紹介❀

平成３１年４月１日より、**産婦人科医師１名、循環器内科医師１名、消化器内科医師1名、腎臓内科医師１名が着任**しました。

病診連携に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

産婦人科

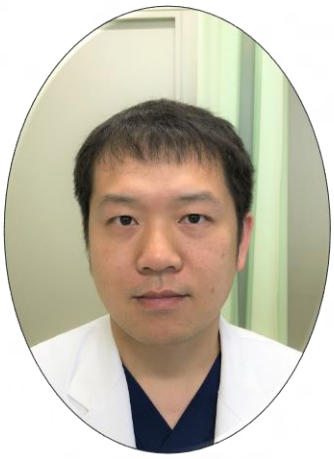
かなや　たろう

金谷　太郎

[趣味]登山

金沢医療センターより4月1日着任しました産婦人科の金谷太郎です。

地域に必要とされる産婦人科診療の実践を目標として努力しますので、今後ともよろしくお願いします。



循環器内科

とくひさ　ひでき

徳久　英樹

[趣味]子育て

[特技]カテーテルアブレーション

石川県能美市出身で、金大附属中学・高校、金大医学部卒（平成20年）です。

昨年まで金大病院に勤務しており、循環器内科、特に不整脈を得意としております。

消化器内科

すだ　つよし

須田　烈史

[趣味]子供と遊ぶ

[特技]おいしいお店探し

今年度より、金沢市立病院で勤務をさせていただくこととなりました、須田烈史と申します。

医師となり、10年目の節目にこの病院で働くことに何か特別な縁を感じています。

専門は消化器内科で、特に胆・膵疾患に興味があります。

みなさまよろしくお願いいたします。

腎臓・ﾘｳﾏﾁ科

ほりこし　けいすけ

堀越　慶輔

[趣味]音楽

[特技]ギター

富山市民病院から異動してきました。

久しぶりに故郷の金沢市での勤務となり、喜ばしく思います。

地域医療の支えになれるよう尽力いたします。

よろしくお願いします。

All Rights Reserved Copyright 2019 Kanazawa Municipal Hospital

ぜひご紹介ください!

❀不整脈治療の最前線❀
～当院で検査・治療が可能となりました～

循環器内科医長　徳久　英樹

日常診療で不整脈に遭遇することは多いと思いますが、非専門医の先生方にとっては時に厄介と思われるケースもあると思います。①動悸発作や失神発作はあるけれど診察時の心電図や24時間のホルター心電図は正常であり診断ができない、②心原性脳塞栓症を疑うが確定診断ができない、といったことはないでしょうか。

「突然はじまり、ぴたっと止まる動悸」といった動悸であれば、発作性上室頻拍症の可能性が高いので、発作時の心電図がなくても、心臓電気生理検査を行い不整脈を誘発させ、その場でカテーテルアブレーション(図1)を施行することができます。また、パッチ型長時間心電図レコーダー（図2）は前胸部に小型の心電計を貼付し、2週間心電図をモニターできるので、診断できる可能性が高まります。検査中に入浴も可能です。原因不明の失神や脳塞栓症に対しては、植込み型心電計(図3)を皮下に植え込み、3年程度モニターすることにより不整脈が診断できることがあります。

診断だけでなく、治療もかわってきています。数年前までは薬物療法が中心だった不整脈治療が、カテーテルアブレーション(図1)やデバイス治療などの非薬物療法の適応拡大がどんどん進んでいます。例えば多発する(１日2万発以上)心室期外収縮(PVC)は無症状であってもカテーテルアブレーションで根治を目指すようになってきていますし、発作性心房細動はもちろん、持続性心房細動であっても持続期間１～２年程度までであればカテーテルアブレーションで根治を目指せるようになっております。

不整脈でお困りの患者さまがおられましたら、ぜひご紹介ください。不整脈専門医が診察させていただき、患者さまの背景も踏まえた上で適切な治療を選択し、かかりつけの先生の元にお返しいたします。

図１ カテーテルアブレーション

図２　パッチ型長時間心電図レコーダー

図3　植込み型心臓モニター

All Rights Reserved Copyright 2019 Kanazawa Municipal Hospital

✿新任研修医紹介✿

臨床研修医

いせ　こうすけ
伊勢　孔祐

[趣味]バスケットボール

今年３月に金沢大学を卒業し、４月から金沢市立病院で研修させていただきます。

９か月間ですが、精一杯頑張りたいと思います。

ご迷惑をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

✿病棟再編について✿

2019年4月より、地域包括ケア病床が、6階西病棟から4階東病棟に移り、54床で運用を開始しました。

また、これまでの6階西、東病棟は、あわせて6階病棟（結核病床併設）となりました。

✿地域連携室職員紹介✿

地域連携室は高桑医師を室長とし、看護師、社会福祉士、事務職員と多職種で日々業務にあたっています。新年度から新しい職員が加わり、より一層の連携強化に努めてまいります。

紹介患者様の受診や開放病床の利用、その他お気軽に地域連携室にお問い合わせください。

なお、入院患者様の入退院支援につきましては、入退院支援室が担当させていただきます。

地域連携室（入院センター・入退院支援室）

（左より）赤堀看護師、今度事務員*、東事務員、前田社会福祉士*、長谷川看護師、高桑室長

（鶴見看護師、中村事務員も所属しています）

（後列左より）當間看護師、浜本社会福祉士*、己上社会福祉士、山田看護師　（前列左より）平林看護師*、佐藤社会福祉士、廣田看護師、坂本副室長

（＊：新任職員）

病院のホームページを
リニューアルしました！！

金沢市立病院 地域連携室
TEL:245-2626　　FAX:245-2693
お問い合わせ・ご予約などお気軽にご連絡ください。
http://kanazawa-municipal-hosp.com/

All Rights Reserved Copyright 2019 Kanazawa Municipal Hospital